

埼玉育ちのグローバル人

言葉が相手に伝わって、同じ世界が開ける。つながる。

第1回 「来日し、住み慣れてそのまま滞在

日本に感謝！」

外国人総合相談センター埼玉 スペイン語相談員
嶋袋 初井ハビエル



埼玉県マスコット「コバトン」

人生体験を書いてくれないかと頼まれた時、はじめは少し戸惑いました。しかし、いつもお世話になっており、親切で優しい上司からのお願いでしたので、引き受けることにしました。

他の方々が書かれた記事を読んでみると、なんだか私にも書ける気がしてきました。このマガジンに掲載された方々は、優れた日本人であり、立派な地位と豊富な海外経験がある方ばかりです。

しかし、今回の記事は全く逆で、日本に住む外国人の私が書かせていただくことになりました。今まで日本に住んでいる間に起こった出来事をうまく表現できるように、辞書と首っ引きになり上手く表現できるように日本語を頑張ることにしました。

福岡にルーツがあり日本人の血が流れていることをとても誇りに思っています。心はとてもラテンなので、しばし両方の血が騒ぐことがあり、混乱してしまうことも多々あります。私はこの美しい国が大好きで、尊敬しています。たくさんの勉強をさせてもらい、プロとしての専門的な分野での成長を促してくれました。



私の名前は、ハビエル・シマブクロ・モミイ、ペルーの首都リマ出身の日系ペルー人です。沖縄と



オリンピックセミナーにて

埼玉県外国人総合相談センターと「ハローワーク」としてよく知られる厚生労働省が管轄している公共職業安定所の相談員として仕事をしています。また、語学学校のスペイン語教師をしながら、在東京ペルー共和国総領事館と協力し外国人を対象にしたセミナーを開催したりしています。これらの活動のお陰で日本国内に限らず海外でも色々な貴重な体験をしました。



オリンピックセミナーにて

1か月に2日間しか休みが取れないことが多いのですが、仕事をしながら同時に日本語という非常に難しい言語を勉強できるのは逆にラッキーだと思っています。日本語は世界の言語の中でも、学ぶのが難しい言語です。日本語の「厄介な問題」、漢字はそれほどではありませんが、問題は“敬語”です。スペイン語にも“丁寧な言い方”や、“ややかしこまった言い方”というのがありますが、日本語のような敬語の概念は存在しません。日本人では自分の感情を表に出さない人が多く、曖昧を好むようです。これは私にとり、非常に分かりにくいことです。

多くの友達たちから今の仕事が好きかどうかよく尋ねられます。大好きで、相談員、翻訳者、教師としての仕事を楽んでいます。毎日、さまざまな悩みを抱えている相談者からの電話を受けますが、解決できるように努力を惜しみません。さまざまな困難に直面している外国人をできるだけ助けたいと思っています。



語学学校の生徒と

一方で語学学校の生徒さん達からはいつも宿題を出してほしいと言われます。なぜ日本人はそんなに熱心なのでしょう？ 私は大学時代、宿題が好きではありませんでした！ 多くの日本人は何をするときも、とても真剣です。その真剣さを私はとても尊敬しています。



語学学校の生徒と

この記事を書き終えた今、コロナウィルス感染が世界中のトップニュースになっています。迅速に解決することを祈ってやみません。

これこそ、国籍も宗教も性別も関係ありませんから。